モデルコア高専5	商船学科	開講年度	平成31年度 (2019年度)

学科到達目標

2015商船

科目区分		授業科目	科目番号	単位種別	単位数	学年別週当授業時数																担当教員	履修上の区分
						1年				2年				3年				4年				5年					
						前		後		前		後		前		後		前		後		前		後			
						1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q		
一般	必修	保健体育１	0011	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	書道	0012	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	美術	0013	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	音楽	0014	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	国語総合１	0015	履修単位	2	2		2																		豊田 尚子	
一般	必修	歴史１	0016	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	English Communication１	0017	履修単位	2	4																					
一般	必修	English Communication２	0018	履修単位	2			4																			
一般	必修	English Expression１	0019	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	基礎数学１	0020	履修単位	2	4																					
一般	必修	基礎数学２	0021	履修単位	2			4																			
一般	必修	基礎数学３	0022	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	物理１	0023	履修単位	2	2		2																			
一般	必修	一般基礎教育１	0024	履修単位	2	2		2																			
専門	必修	航海概論	0001		2	2		2																			
専門	必修	機関概論	0002		2	2		2																			
専門	必修	情報リテラシーⅠ	0003		1			2																			
専門	必修	海技実習	0004		2	2		2																			
専門	必修	練習船実習Ⅰ	0005		1	1		1																			
専門	必修	航海概論	0006		2	2		2																			
専門	必修	機関概論	0007		2	2		2																			
専門	必修	情報リテラシーⅠ	0008		1			2																			
専門	必修	海技実習	0009		2	2		2																			
専門	必修	練習船実習Ⅰ	0010		1	1		1																			
一般	必修	保健･体育	0060	履修単位	2					2		2															
一般	必修	国語(2年)	0061	履修単位	2					2		2															
一般	必修	歴史	0063	履修単位	2					2		2															
一般	必修	英語Ａ	0064	履修単位	3					3		3															
一般	必修	英語Ｂ	0065	履修単位	2					2		2															
一般	必修	微分積分Ａ	0066	履修単位	3					3		3															
一般	必修	微分積分Ｂ	0067	履修単位	2					2		2															
一般	必修	代数･幾何	0068	履修単位	2					2		2															
一般	必修	物理	0069	履修単位	3					3		3															

| | | |

専門	コース必修	船舶整備論	0077	履修単位	1									2										
専門	コース必修	航海法規	0078	履修単位	1									2										
専門	コース必修	練習船実習	0079	履修単位	1									1	1									
専門	必修	応用数学	0080	履修単位	2									2	2									
専門	必修	工業力学	0081	履修単位	1									2										
専門	必修	材料力学	0082	履修単位	1										2									
専門	必修	計測制御工学Ⅰ	0083	履修単位	2									2	2									
専門	必修	海事法規Ⅰ	0084	履修単位	2									2	2									
専門	必修	実験実習Ⅰ	0085	履修単位	3									3	3									
専門	コース必修	電子工学	0086	履修単位	1									2										
専門	コース必修	設計製図	0087	履修単位	2									2	2									
専門	コース必修	内燃機関学	0088	履修単位	4									4	4									
専門	コース必修	蒸気機関学	0089	履修単位	1										2									
専門	コース必修	舶用補助機関学	0090	履修単位	1										2									
専門	コース必修	練習船実習	0091	履修単位	1									1	1									
一般	必修	保健･体育	0094	学修単位	1												1							
一般	必修	経済学	0096	学修単位	1													1						
一般	必修	総合英語	0097	学修単位	3												3							
一般	必修	ドイツ語	0098	学修単位	1												1							
専門	必修	流体力学	0070	履修単位	1													2						
専門	必修	船舶工学	0071	履修単位	1													2						
専門	コース必修	貿易物流概論	0072	履修単位	1													2						
専門	コース必修	船舶通信概論	0073	履修単位	1												2							
専門	コース必修	船舶安全学Ⅱ	0074	履修単位	1													2						

| | | |

| | | |

| | | |

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健体育１

科目基礎情報

科目番号	0011	科目区分	一般 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	書道

科目基礎情報

科目番号	0012	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	美術

科目基礎情報

科目番号	0013	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	音楽

科目基礎情報

科目番号	0014	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語総合１

科目基礎情報

科目番号	0015	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員	豊田 尚子		

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	歴史１

科目基礎情報

科目番号	0016	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	English Communication 2

科目基礎情報			
科目番号	0018	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	4
教科書/教材			
担当教員			

到達目標
ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係
教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画				
		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎数学１

科目基礎情報

科目番号	0020	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	前期	週時間数	4
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎数学２

科目基礎情報

科目番号	0021	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	4
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	基礎数学３

科目基礎情報

科目番号	0022	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	物理１

科目基礎情報

科目番号	0023	科目区分	一般 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	一般基礎教育１

科目基礎情報

科目番号	0024	科目区分	一般 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	海技実習

科目基礎情報

科目番号	0004	科目区分	専門 / 必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	航海概論

科目基礎情報

科目番号	0006	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	機関概論

科目基礎情報

科目番号	0007	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	: 2
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	情報リテラシーⅠ

科目基礎情報

科目番号	0008	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	: 1
開設学科	商船学科	対象学年	1
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健･体育

科目基礎情報

科目番号	0060	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	高校現代社会（実教出版）および自主作成資料		
担当教員			

到達目標

①現代の社会を理解するための基礎的・基本的な知識を身につけることができる。
②現代社会のさまざまな事象を主体的にとらえ、それらの要因、背景、影響を多面的に考察し、理解を深めることができる。
③現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、人としてのよりよい生き方やあり方を考え、より望ましい行動をとることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1 基礎的な知識	現代社会を理解するための基本的なことがらについて説明できる。	現代社会を理解するための基本的なことがらについての理解を深めることができる。	現代社会を理解するための基本的なことがらについての理解が深められない。	
評価項目2 多面的な考察と理解	現代社会のさまざまな事象について多面的に説明することができる。	現代社会のさまざまな事象を多面的に考察し、理解を深めることができる。	現代社会の今日的な事象について多面的に考察したり、理解を深めたりすることができない。	
評価項目3 主体的な行動	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動をとることができる。	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動への意識がもてるようになる。	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえることができない。	

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	現代社会のさまざまな事象を理解するためには、基礎的・基本的なことがらを身に付けることが必要です。講義を通じて、これらの基礎的・基本的なことがらを身につけていきます。また、そのうえで、具体的な現代社会のさまざまな事象について、その原因、背景、影響等をいろいろな角度から考え、考察していきます。そのためには、新聞、テレビなどのニュースを通じて、今おこっている社会のできごとに積極的に目を向けることが必要です。また、講義を通して、現代社会に様々な課題がある状況の中で、人としてどのように考え、どのような行動をとるのかについての手がかりを見つけ、望ましい行動がとれるようになることを目指します。
授業の進め方・方法	教科書を手がかりにして、現代社会のさまざまなできごとについて把握し、それに関係する基礎的・基本的な内容について理解し、身に付けることを基本とします。また、現在進行している社会現象や社会の変化についても、実際の新聞報道などをもとに学んでいきます。
注意点	現代の社会では、常にさまざまな事象が発生し、進行していきます。そのような現代社会を理解するためには、基礎的・基本的なことがらを確実に身に付けることが欠かせません。進んでこれらの基礎的・基本的なことがらを理解し、身につけるようにしてください。また、常に新聞やテレビなどの報道などに関心を持ち、常に社会事象について、その原因、背景、影響等をいろいろな角度から考え、考察していくことも大切です。そのうえで、現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動がとれるようになることが一層大切です。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション　現代社会と環境問題	・「現代社会」の学習の目的と意義について理解する。 地球環境問題のあらましを把握する。
		2週	現代社会と環境問題（１）	・「生態系」とは何かを知るとともに、生態系の保全の重要性について理解する。
		3週	現代社会と環境問題（２）	・「生態系」にかかわる課題を学習し、生態系の保全の重要性について考察する。
		4週	地球環境問題と地球温暖化（１）	・地球温暖化とは何かを知るとともに、その原因について理解する。
		5週	地球環境問題と地球温暖化（２）	・地球温暖化の進行がどのような状況を招くのかを知るとともに、地球温暖化と私たちの生活とのかかわりについて理解する。
		6週	地球環境問題とオゾン層の破壊	・オゾン層とその破壊の状況について知るとともに、その原因について理解し、国際的な取り組みについて理解する。
		7週	生態系と野生の生物種の保護	・生態系の保護、野生の生物種にかかわるさまざまな課題と国際的な取り組みについて理解する。
		8週	前期中間テスト	
	2ndQ	9週	テスト返却・復習　砂漠化の進行	・砂漠化とは何かを知るとともに、砂漠化の状況を把握し、その原因について考察する。
		10週	地球環境問題と国際的な取り組み（１）	・地球環境問題に関する国際的な取り組みの目的とその取り組み内容について理解する。
		11週	地球環境問題と国際的な取り組み（２）	・地球環境問題に関するさまざま国際的な取り組みについての理解を進める。
		12週	地球環境問題と国際的な取り組み（３）	・地球環境問題に関する様々な課題について知るとともに、その解決のみちすじについて考察する。
		13週	資源・エネルギー問題（１）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の現状について理解する。
		14週	資源・エネルギー問題（２）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の現状についての理解を深める。
		15週	前期期末テスト	

		16週	テスト返却・復習　資源・エネルギー問題（３）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の課題について考察する。
後期	3rdQ	1週	生命科学の進歩や技術の開発（１）	・生命科学の進歩や技術の進展の現状について把握する。
		2週	生命科学の進歩や技術の開発（２）	・生命科学の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題について理解する。
		3週	先端医療の現状と課題（１）	・先端医療の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題について理解する。
		4週	先端医療の現状と課題（２）	・先端医療の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題についての理解を進める。
		5週	遺伝子にかかわる技術の進歩（１）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題について理解する。
		6週	遺伝子にかかわる技術の進歩（２）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題についての理解を進める。
		7週	遺伝子にかかわる技術の進歩（３）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題について多面的に考察する。
		8週	後期中間テスト	
	4thQ	9週	テスト返却・復習　　高度情報化社会の進展と現状（１）	・高度情報化社会の現状について理解する。
		10週	高度情報化社会の進展と現状（２）	・高度情報化社会の現状についての理解を深める。
		11週	高度情報化社会の現状と課題（３）	・高度情報化社会のさまざま課題について把握する。
		12週	高度情報化社会の現状と課題（４）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について考察する。
		13週	高度情報化社会の現状と課題（５）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について多面的に考察する。
		14週	高度情報化社会の現状と課題（６）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について多面的に考察する。
		15週	後期期末テスト	
		16週	テスト返却・復習　現代社会の課題と私たちの生活	・一年間の学習をふりかえり、現代社会の課題と今後の自分の生き方についての考えを深める。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語(2年)

科目基礎情報

科目番号	0061	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	歴史

科目基礎情報

科目番号	0063	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	英語Ｂ

科目基礎情報

科目番号	0065	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	微分積分Ａ

科目基礎情報

科目番号	0066	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 3
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	3
教科書/教材	矢野，石原： 基礎の数学　改訂版，裳華房 / 矢野，石原： 問題集　基礎の数学，裳華房		
担当教員			

到達目標

1. 三角比に関する基本的な問題を解くことができる。
2. 三角関数に関する基本的な問題を解くことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	三角比に関する応用的な問題を解くことができる。	三角比に関する基本的な問題を解くことができる。	三角比に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目2	三角関数に関する応用的な問題を解くことができる。	三角関数に関する基本的な問題を解くことができる。	三角関数に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	三角比と三角関数に関する基本事項を学ぶ。
授業の進め方・方法	授業は主として講義形式で行うが、適宜問題演習の時間をとることがある。
注意点	基礎数学3は、高等専門学校でこれから学んでいく数学や専門科目の基礎となる科目であり、学習内容をしっかりと身につけることが望まれる。 そのため、授業の復習と、自発的な問題演習に取り組むよう心掛けること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目標や進め方、成績評価の方法について知る。
		2週	三角比の定義	三角比の定義を理解し、三平方の定理を利用して直角三角形の頂角の三角比の計算ができる。
		3週	三角比の近似値	三角関数表を用いて鋭角の三角比の近似値を求めることができる。
		4週	鈍角の三角比	鈍角の三角比を求めることができる。
		5週	三角比の相互関係	各種の三角比の相互関係について知る。
		6週	正弦定理	正弦定理を用いた三角形への簡単な応用ができる。
		7週	余弦定理	余弦定理を用いた三角形への簡単な応用ができる。
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	試験返却・解答 一般角	一般角の定義を知る。
		10週	弧度法	角を弧度法で表現することができる。
		11週	三角関数の定義	三角関数の定義を知る。
		12週	三角関数と三角比	三角関数が三角比の一般化になっていることを知る。
		13週	三角関数の値	一般角の三角関数の値を求めることができる。
		14週	三角関数の基本公式	三角関数の基本公式を知る。
		15週	前期期末試験解説	
		16週		
後期	3rdQ	1週	三角関数の相互関係	三角関数の相互関係に関する公式を用いて、三角関数の値の計算ができる。
		2週	三角関数を含む式の計算	三角関数の基本公式を用いて、三角関数を含む式の計算ができる。
		3週	三角関数の周期性	三角関数の周期性について知る。
		4週	三角関数のグラフ（１）	三角関数のグラフの基本形をかくことができる。
		5週	三角関数のグラフ（２）	伸縮と平行移動された三角関数のグラフをかくことができる。
		6週	三角関数のグラフの応用	三角関数のグラフを利用して、簡単な三角方程式を解くことができる。
		7週	中間試験	
		8週	試験返却・解答 加法定理	三角関数の加法定理について知る。
	4thQ	9週	加法定理の応用（１）	加法定理を用いて三角関数の値の計算ができる。
		10週	加法定理の応用（２）	加法定理からいろいろな公式が導出されることを知る。
		11週	2倍角・半角の公式	2倍角・半角の公式を使うことができる。
		12週	三角関数の合成	三角関数の合成をすることができる。
		13週	三角方程式	三角関数を含む基本的な方程式を解くことができる。
		14週	三角不等式	三角関数を含む基本的な不等式を解くことができる。
		15週	期末試験	

		16週	試験返却・解答	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	微分積分Ｂ

科目基礎情報

科目番号	0067	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	現代高等保健体育　大修館書店		
担当教員			

到達目標

1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。
2.体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位により、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図れる。また、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームや記録測定を実行できる。
3.保健で取り上げられた各項目の基礎知識について説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が少なく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が多い。または、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられる。
評価項目2	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会において高いレベルの記録を出すことができる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位がやや低くても、改善しようとする姿勢がみられる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術概ね習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位が著しく低く、改善しようとする姿勢がみられない。または、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術がほとんど習得できておらず、ルールも理解できていない。
評価項目3	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中4項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できない。または、飲酒、喫煙、薬物乱用のいずれかを行なった。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	体育実技と保健の講義を行う。 体育実技では、基礎体力の維持増進を図るとともに、各スポーツ競技を楽しむための基礎的技術の習得及びルールの理解を通してゲームや記録測定を行う。 保健の講義では、日常生活に関連した項目について学ぶ。
授業の進め方・方法	体育実技は、主にグランドや体育館にて行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。 保健の講義は、主にクラスルームにて行う。
注意点	･評価の50%は態度(出席状況及び授業態度)である。日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、真面目に取り組むこと。 ･授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。 ･実技の授業時には、運動に適した服装･シューズ及び着替えを準備すること。保健の授業時には、教科書を準備すること。 ･安全面に注意するとともに、体調不良時には、早めに担当教員に申し出ること。 ･日常的に規則正しい生活を心がけ、健康状態の維持及び体力の維持増進を図っておくこと。また、体育･スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業のガイダンスと体力テスト（屋内種目）	自己の体力水準を認識できる。
		2週	体力テスト（屋外種目）	自己の体力水準を認識できる。
		3週	バレーボール（パスの練習）	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスのコツをつかむ。
		4週	バレーボール（スパイクとサーブの練習）	スパイクとサーブの打ち方のコツをつかむ。
		5週	バレーボール（ルールの確認とゲームの実践①）	バレーボールのルールを理解する。
		6週	バレーボール（ゲームの実践②）	ゲームの中でサーブを確実にコートに入れることができる。
		7週	バレーボール（ゲームの実践③）	チームメイトと協力してラリーを続けることができる。
		8週	バレーボール（ゲームの実践④）	ラリー中にスパイクが打てる。
	2ndQ	9週	バレーボール（ゲームの実践⑤）	ブロックを含めたチームディフェンスができる。
		10週	バレーボール（ゲームの実践⑥）	ブロックを含めたチームディフェンスから攻撃を組み立てることができる。
		11週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。
		12週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。
		13週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。
		14週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。

		15週	前期総括	前期の反省点を確認し、後期に生かすイメージを持てる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	陸上競技(短距離走、ハードル走)	クラウチングスタートの注意点を説明できる。
		2週	陸上競技(ハードル走、持久走)	ハードル間を3歩のリズムで走ることができる。
		3週	陸上競技(砲丸投、持久走)	砲丸投の突き出し動作を実行できる。
		4週	陸上競技(砲丸投、持久走)	ペース配分を考えて持久走を実行できる。
		5週	陸上競技(走高跳)	跳躍方法ごとの踏切脚と助走方向の関係を説明できる。
		6週	陸上競技(走高跳)	リズム感のある助走から踏切を実行できる。
		7週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		8週	マラソン大会コース下見	マラソン大会のコースをイメージできる。
	4thQ	9週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		10週	保健(健康について)	健康のとらえ方の変遷について説明できる。
		11週	保健(喫煙と飲酒)	喫煙及び飲酒の人体への影響について説明できる。
		12週	保健(医薬品と健康、薬物乱用とドーピング)	医薬品の正しい使用法について説明できる。
		13週	保健(日常的な応急手当と心肺蘇生法、AED講習会)	心肺蘇生法の基本的な流れを理解し、AEDを正しく使用できる。
		14週	保健(人間と性、性感染症とエイズ)	エイズの感染経路を理解し、予防法を説明できる。
		15週	総括	次年度の自己の健康及び体力増進をイメージできる。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	7	0	0	50	0	43	100
基礎的能力	7	0	0	0	0	0	7
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	0	43	93

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	代数･幾何

科目基礎情報

科目番号	0068	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	書道　Ⅰ　（東京書籍）		
担当教員			

到達目標

・表現と鑑賞の幅広い活動から書を愛好する心を育てる。
・文化、伝統の理解を深める。
・書写能力を育てて自己表現する能力を高める。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	作品を仕上げ提出する	作品を仕上げ提出する	清書不提出 用具不足
評価項目2	授業前の準備が出来ている 積極的に添削に来る。 練習量が多い	授業中の態度に問題はない	練習量の不足
評価項目3	臨書することで技能を習得し古典作品の特徴が理解できる 鑑賞して自分の言葉で表現出来る	古典作品の特徴を理解し書けている	添削した作品を捨てる 集中力にかけている

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	・「漢字の書」 さまざまな書風にふれることで，鑑賞，表現の能力を高め，創作に生かしていく． ・「仮名の書」 色々な書風にふれ，美しさや表現方法を学び，創作に活かしていく． ・「漢字仮名交じりの書」 身近な題材や自らの思い，感動を語句にし，実用的表現形式に創作する．
授業の進め方・方法	実技で、作品、態度もしっかり取り組んでいるかを見ます。
注意点	「評価割合」のその他２０パーセントについては、持ち物（半紙、墨汁、筆太小、硯、文鎮、下敷き）等の用意がされているかを評価する。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	書へのいざない（１）	書に親しむ（身近な物から）
		2週	書へのいざない（２） 書へのいざない（２）	用具，用材について知る（文房四宝）
		3週	書へのいざない（３）	姿勢，執筆法を身につける
		4週	書へのいざない（４）	調和よく書く
		5週	書へのいざない（５）	書の美しさを知る
		6週	漢字の書（１）	古典を学ぶ
		7週	漢字の書（1）-2	古典を学ぶ
		8週	漢字の書（２）	孔子廟同
	2ndQ	9週	漢字の書（３）	九成宮醴泉銘
		10週	漢字の書（４）	雁塔聖教序
		11週	漢字の書（５）	顔氏家廟碑
		12週	漢字の書（６）	牛橛造像記
		13週	漢字の書（７）	鄭義下碑
		14週	行書（１）	集王聖教序
		15週	行書（１）-2	集王聖教序
		16週		
後期	3rdQ	1週	行書（２）	蘭亭序
		2週	行書（３）	風信帖
		3週	行書（４）	争坐位文稿
		4週	隷書（１）	曹全碑
		5週	隷書（２）	木簡
		6週	篆刻（１）	印を作ろうNo1
		7週	篆刻（２）	印を作ろうNo２
		8週	篆刻（３）	漢字の書の創作
	4thQ	9週	篆刻（4）	漢字の書の創作
		10週	仮名（１）	基本用筆を学ぶ
		11週	仮名（２）	平仮名を書く
		12週	仮名　（３）	高野切
		13週	漢字仮名交じり書（１）	書きたい言葉を古典から調べる
		14週	漢字仮名交じり書（２）	書きたい言葉を古典から調べる
		15週	漢字仮名交じり書（3）	書きたい言葉を古典から調べる

		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	80	20	100
基礎的能力	0	0	0	0	80	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	物理

科目基礎情報

科目番号	0069	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 3
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	3
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	化学

科目基礎情報

科目番号	0070	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	Vivid English Expression Ⅰ（第一学習社）、Hello there! English Conversation（東京書籍） 副教材としてそれぞれに ワークブックを使用、グランドセンチュリー英和辞典（三省堂）		
担当教員			

到達目標

Reading 簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解できる。
Listening 英語での指示や質問の内容を理解できる。
Writing 基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を書ける。
Speaking 決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	簡単な英語で書かれた比較的短い文章を直読直解し、内容を正確に理解できる。	簡単な英語で書かれた比較的短い文章をほぼ直読直解できる。	簡単な英語で書かれた比較的短い文章であっても直読直解できない。
評価項目2	英語での指示や質問の内容を正確に理解できる。	英語での指示や質問の概要を理解できる。	英語での指示や質問の内容を理解できない。
評価項目3	基本的な構文を十分理解し、それを用いて簡単な英文を文法的に正確に書ける。	基本的な構文を理解し、それを用いて簡単な英文を間違いはあるものの書ける。	基本的な構文を理解できないため、それを用いた簡単な英文であっても書けない。
評価項目4	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話ができる。	決まったフレーズを用いて、自己紹介や簡単な会話がほぼできる。	決まったフレーズを用いても自己紹介や簡単な会話ができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、事実や意見などを多様な観点から考察し、論理の展開や表現の工夫をしながら伝える能力を養う。
授業の進め方・方法	計２時間の授業で、Vivid English Expression Ⅰ（第一学習社）を使用し、教室で主に英文法を学ぶ講義形式の授業と、Hello there! English Conversation（東京書籍）を使用し、ＬＬ教室で主にリスニングと会話をおこなう授業の二種で進める。 前者の授業は飯鳥が、後者の授業は鏡が担当する。
注意点	English Expression 1は文法１単位、ＬＬ１単位の通年授業である。 評価については文法５０％、ＬＬ５０％となる。 文法の評価割合は、試験３０％、態度５％、ポートフォリオ１５％とする。 ＬＬの評価割合は、試験２５％、発表５％、態度５％、ポートフォリオ１５％とする。 ポートフォリオには、確認テスト、レポートなどが含まれる。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	Get Ready 1 Classroom English Get Ready 2 英語の音の特徴 LL-- ＬＬ教室の説明	英語の指示に適切に応えることができる。 リズム，イントネーション，音の脱落，音の変化について理解し聞いたり話したりすることができる。 ＬＬ教室の使い方等を理解できる。
		2週	Get Ready 3 日本語と英語で異なる文の構造（語順） Get Ready 4 品詞・句と節 LL--Lesson 1 Nice to Meet You	書こうとする英文に適切な文構造を用いて文を作ることができる。 文中における品詞の働きについて理解し適切に運用することができる。 LL--英語で自己紹介をする、聞き返す、挨拶をすることができる。
		3週	Lesson 1 Hello, Everyone ! LL--Lesson 1 Nice to Meet You	英語で自己紹介することができる。 LL--英語で意味を尋ねる・説明することができる。
		4週	Lesson 1 Hello, Everyone! LL--Lesson 2 Hello, Friends!	be動詞や一般動詞の肯定文、否定文を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で許可を求める・与える、相手について尋ねる・答えることができる。
		5週	Lesson 2 She Is from Canada LL--Lesson 2 Hello, Friends!	「留学生」の場面を想定してコミュニケーション活動ができる。 LL--英語でリストアップする表現を使用できる。
		6週	Lesson 2 She Is from Canada LL--Listen Up 1	疑問文、命令文の表し方を理解し、文を作ることができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		7週	Lesson 3 My School Life LL--Sakura's Adventure Episode 1	「学校生活」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--入国審査で使用される表現を知り、応答できる。
		8週	中間試験	
	2ndQ	9週	中間試験の返却と解答 Lesson 3 My School Life LL--Lesson 3 My Favorite Music	ＳＶ，ＳＶＣの文構造を理解し、文を作ることができる。 LL--英語で意見を言う、リストアップする時の表現を使用できる。
		10週	Lesson 4 We Enjoy Club Activities LL--Lesson 3 My Favorite Music	「クラブ活動」の場面を踏まえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で意見を言う、リストアップする時の表現を使用できる。

		11週	Lesson 4　We Enjoy Club Activities LL--DVD鑑賞	ＳＶＯ，ＳＶＯＯの文構造を理解し、文を作ることができる。 英語の多様な表現や英語圏の文化に親しむ。
		12週	Lesson 5　My Hobby LL--DVD鑑賞	「趣味・余暇」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 英語の多様な表現や英語圏の文化に親しむ。 誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		13週	Lesson 5　My Hobby LL--Lesson 4　What Are You Crazy About?	ＳＶＯＣ，There is (are)の文構造を理解し、文を作ることができる。 LL--英語でリストアップする、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		14週	For Communication 1 LL--Lesson 4　What Are You Crazy About?	「電話」の場面をふまえて「提案・勧誘」の表現を使ってコミュニケーション活動ができる。 LL--英語でリストアップする、興味・関心を伝える、誘う・誘いを断るときの表現を使用できる。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の返却と解答	
後期	3rdQ	1週	Lesson 6　My Trip to Australia LL--Listen Up 2	「旅行」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		2週	Lesson 6　　My Trip to Australia LL--Sakura's Adventure Episode 2	現在形・現在進行形，過去形・過去進行形の表現と働きを理解し，文を作ることができる。 LL--買い物時に使用される表現を覚えることができる。
		3週	Lesson 7　　Today’s Weather Forecast LL--Lesson 5　A Friendly Potluck Dinner	「天候・気候」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で許可を求める・許可する / 許可しない表現を使用できる。
		4週	Lesson 7　　Today’s Weather Forecast LL--Lesson 5　A Friendly Potluck Dinner	will，be going to，現在進行形などの未来を表す表現を理解し，文を作ることができる。 LL--英語で許可を求める・許可する / 許可しない表現を使用できる。
		5週	Lesson 8　　Let’s Have a Party! LL--Lesson 6　Are You All Right?	「パーティー」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で同情する、事情を理解する、助言することができる。
		6週	Lesson 8　　Let’s Have a Party! LL--Lesson 6　Are You All Right?	現在完了形の表現と意味を理解し，文を作ることができる。 LL--英語で同情する、事情を理解する、助言することができる。
		7週	Lesson9　　Let’s Enjoy Cooking! LL--Listen Up 2	「料理」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--既習レッスンの総復習問題を解答できる。
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	中間試験の返却と解答 Lesson 9　　Let’s Enjoy Cooking! LL--Sakura's Adventure Episode 3	助動詞の働きと表す意味を理解し，文を作ることができる。 LL--レストランで使用される表現を覚えることができる。
		10週	Lesson 10　　What’s the Matter? LL--Lesson 7　Talking about Our Town	「健康・病気」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で描写する表現を利用できる。
		11週	Lesson 10　What’s the Matter? LL--Lesson 7　Talking about Our Town	should，助動詞を用いた依頼・勧誘の表現を理解し，文を作ることができる。 LL--英語で描写する表現を利用できる。
		12週	For Communication 2 LL--英語の歌	「聞き直す・繰り返す」表現を理解し，文を作ることができる。 LL--英語のよく知られたクリスマスソングに親しむ。
		13週	For Communication 2（2） LL--Lesson 8　Traditional Culture	「道案内」の場面をふまえて「聞き直す・繰り返す」表現を使ってコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明するなどの表現を使用できる。
		14週	Lesson 11　A New Ballpark LL--Lesson 8　Traditional Culture	「スポーツ」の場面をふまえてコミュニケーション活動ができる。 LL--英語で予定を尋ねる・答える、習慣を尋ねる、説明するなどの表現を使用できる。
		15週	期末試験	
		16週	期末試験の返却と解答	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	55	5	0	10	30	0	100
基礎的能力	55	5	0	10	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0

分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	生物

科目基礎情報

科目番号	0071	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	現代高等保健体育　大修館書店		
担当教員			

到達目標

1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。
2.体力テスト及びマラソン大会の記録や順位により、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図れる。また、バドミントン及びサッカーの基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームを実行できる。
3.保健で取り上げられた各項目の基礎知識について説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が少なく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が多い。または、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられる。
評価項目2	体力テスト及びマラソン大会において高いレベルの記録を出すことができる。バドミントン及びサッカーの基礎的技術を習得するとともに、ルールを理解できる。	体力テスト及びマラソン大会の記録や順位がやや低くても、改善しようとする姿勢がみられる。バドミントン及びサッカーの基礎的技術概ね習得するとともに、ルールを理解できる。	体力テスト及びマラソン大会の記録や順位が著しく低く、改善しようとする姿勢がみられない。または、バドミントン及びサッカーの基礎的技術がほとんど習得できておらず、ルールも理解できていない。
評価項目3	「スポーツの技術と戦術」、「効果的な動きのメカニズム」「技能と体力」「体力トレーニング①」「体力トレーニング②」の5項目中4項目以上説明できる。	「スポーツの技術と戦術」、「効果的な動きのメカニズム」「技能と体力」「体力トレーニング①」「体力トレーニング②」の5項目中3項目以上説明できる。	「スポーツの技術と戦術」、「効果的な動きのメカニズム」「技能と体力」「体力トレーニング①」「体力トレーニング②」の5項目中3項目以上説明できない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	体育実技と保健の講義を行う。 体育実技では、基礎体力の維持増進を図るとともに、各スポーツ競技を楽しむための基礎的技術の習得及びルールの理解を通してゲームや記録測定を行う。 保健の講義では、スポーツの技術やトレーニングに関連した項目について学ぶ。
授業の進め方・方法	体育実技は、主にグランドや体育館にて行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。 保健の講義は、主にクラスルームにて行う。
注意点	･評価の50%は態度(出席状況及び授業態度)である。日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、真面目に取り組むこと。 ･授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。 ･実技の授業時には、運動に適した服装･シューズ及び着替えを準備すること。保健の授業時には、教科書を準備すること。 ･安全面に注意するとともに、体調不良時には、早めに担当教員に申し出ること。 ･日常的に規則正しい生活を心がけ、健康状態の維持及び体力の維持増進を図っておくこと。また、体育･スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	体力テスト(屋外種目)	昨年度の記録を上回る。
		2週	体力テスト(屋内種目)	昨年度の記録を上回る。
		3週	バドミントン(グリップ、クリア、ミニゲーム)	正しいグリップで回内･回外動作をできる。
		4週	バドミントン(クリア、スマッシュ、ミニゲーム)	クリアとスマッシュを打ち分けることができる。
		5週	バドミントン(ドライブ、ダブルスルール確認)	ドライブでラリーを続けることができる。
		6週	バドミントン(ダブルスゲーム①)	ダブルスのルールを理解してゲームを実行できる。
		7週	バドミントン(ダブルスゲーム②)	ダブルスのルールを理解してゲームを実行できる。
		8週	バドミントン(ダブルスゲーム③)	サーブを確実に相手のサービスコートに打つことができる。
	2ndQ	9週	バドミントン(ダブルスゲーム④)	サーブレシーブを確実に相手コートに返すことができる。
		10週	バドミントン(ダブルスゲーム⑤)	サイド･バイ･サイド･フォーメイションを実行できる。
		11週	バドミントン(ダブルスゲーム⑥)	トップ･アンド･バック･フォーメイションを実行できる。
		12週	バドミントン(ダブルスゲーム⑦)	ダイアゴナル･フォーメイションを実行できる。
		13週	バドミントン(ダブルスゲーム⑧)	チームの特徴を生かしたフォーメイションを選択できる。
		14週	バドミントン(ダブルスゲーム⑨)	チームの特徴を生かしたフォーメイションを選択できる。
		15週	前期総括	前期の反省点を確認し、後期に生かすイメージを持てる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	サッカー（キックの練習とルールの確認）	インサイドキック、アウトサイドキックでボールを正確に蹴る。 授業におけるサッカーのルールを確認する

		2週	サッカー（シュートの練習とフォーメーションの確認）	正確にゴールの枠内にシュートができる。 FW,MF,DF、GKのフォーメーションを理解できる。
		3週	サッカー（ゲームの実践①）	パスを繋げることができる。
		4週	サッカー（ゲームの実践②）	オフサイドを理解して攻撃することができる。
		5週	サッカー（ゲームの実践③）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		6週	保健（スポーツの技術と戦術）	技術と技能の意味を理解できる。 戦術、作戦、戦略の意味を理解できる。
		7週	サッカー（ゲームの実践④）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		8週	保健（効果的な動きのメカニズム）	スポーツにおける動きのメカニズムを理解できる。
	4thQ	9週	サッカー（ゲームの実践⑤）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		10週	保健（技能と体力）	スポーツを効果的に行うために技能と体力の関係を理解できる。
		11週	サッカー（ゲームの実践⑥）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		12週	保健（体力トレーニング①）	体力トレーニングの基礎理論、進め方を理解できる。
		13週	サッカー（ゲームの実践⑦）	チームのフォーメーションを理解してゲームができる。
		14週	保健（体力トレーニング②）	筋力トレーニング、持久力トレーニング、調整力・柔軟性トレーニングの内容を理解できる。
		15週	総括	次年度の自己の健康及び体力増進をイメージできる。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	7	0	0	50	0	43	100
基礎的能力	7	0	0	0	0	0	7
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	0	43	93

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	航海概論

科目基礎情報

科目番号	0056	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	機関概論

科目基礎情報

科目番号	0057	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	小型船舶概論

科目基礎情報

科目番号	0058	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	練習船実習

科目基礎情報

科目番号	0059	科目区分	専門 / コース必修
授業形態	実験・実習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	現代社会

科目基礎情報

科目番号	0062	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	2
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	保健･体育

科目基礎情報

科目番号	0092	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	矢野，石原： 基礎の数学 改訂版，裳華房 / 矢野，石原： 問題集　基礎の数学，裳華房 / 矢野，石原：微分積分 改訂版，裳華房		
担当教員			

到達目標

1. 分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができる。
2. 指数と対数に関するの基本的な問題を解くことができる。
3. 整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができる。
4. 関数の極限に関する基本的な問題を解くことができる。
5. 積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができる。
6. 三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数関する基本的な問題を解くことができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	分数関数・無理関数・逆関数に関する応用的な問題を解くことができる。	分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができる。	分数関数・無理関数・逆関数に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目2	指数と対数に関する応用的な問題を解くことができる。	指数と対数に関するの基本的な問題を解くことができる。	指数と対数に関するの基本的な問題を解くことができない。
評価項目3	整関数の微分と積分に関する応用的な問題を解くことができる。	整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができる。	整関数の微分と積分に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目4	関数の極限に関する応用的な問題を解くことができる。	関数の極限に関する基本的な問題を解くことができる。	関数の極限に関する基本的な問題を解くことができない。
評価項目5	積・商・合成関数の微分公式を利用した応用的な問題を解くことができる。	積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができる。	積・商・合成関数の微分公式を利用した基本的な問題を解くことができない。
評価項目6	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数関する応用的な問題を解くことができる。	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数関する基本的な問題を解くことができる。	三角関数・逆三角関数・対数関数・指数関数の導関数関する基本的な問題を解くことができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	前期 　分数関数・無理関数・指数関数・対数関数等について、それぞれの関数の性質とグラフについて学ぶ。 　整関数を題材として、微分・積分の基本事項について学ぶ。 後期 　関数の極限の概要とその値の求め方について学ぶ。 　三角関数・逆三角関数・指数関数・対数関数の微分について学ぶ。
授業の進め方・方法	この授業は，同一週に開講される微分積分Aの内容に関する演習を中心として行う。
注意点	微分積分Bは、高等専門学校でこれから学んでいく数学や専門科目の基礎となる科目であり、学習内容をしっかりと身につけることが望まれる。 そのため、授業の復習と、自発的な問題演習に取り組むよう心掛けること。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンス	授業の目標や進め方、成績評価の方法について知る。
		2週	分数関数	分数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。
		3週	無理関数	無理関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。
		4週	逆関数	基本的な関数の逆関数を求め、そのグラフをかくことができる。
		5週	累乗根と指数の拡張	累乗根の意味を理解し、指数法則を拡張し、計算に利用することができる。
		6週	指数関数	指数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。
		7週	指数方程式	指数を含む基本的な方程式を解くことができる。
		8週	前期中間試験対策	前期中間試験の範囲の復習を行う。
	2ndQ	9週	対数の定義と計算	対数の定義を知り、基本的な計算ができる。
		10週	対数関数	対数関数の性質を理解し、グラフをかくことができる。
		11週	対数方程式	対数を含む基本的な方程式を解くことができる。
		12週	関数の極限と微分係数	関数の極限と微分係数の意味を理解し、整関数についてその値を求めることができる。
		13週	整関数の微分	導関数の定義を理解し、整関数の微分ができる。
		14週	整関数の積分	整関数について、不定積分・定積分の計算ができる。
		15週		
		16週	前期の総復習	前期に扱った内容についての復習を行う。
後期	3rdQ	1週	関数の極限	いろいろな関数の極限を求めることができる。
		2週	積の微分公式	積の導関数の公式を使うことができる。

		3週	商の微分本公式	商の導関数の公式を使うことができる。
		4週	合成関数の微分公式	合成関数の導関数を求めることができる。
		5週	三角関数の極限	三角関数に関係した極限を求めることができる。
		6週	三角関数の微分（１）	基本的な三角関数の導関数を求めることができる。
		7週	三角関数の微分（２）	積・商・合成関数を利用して、三角関数の導関数を求めることができる。
		8週	後期中間試験対策	後期中間試験の範囲の復習を行う。
	4thQ	9週	逆三角関数の定義	逆三角関数の定義を知り、値を求めることができる。
		10週	逆三角関数の微分（１）	基本的な逆三角関数の導関数を求めることができる。
		11週	逆三角関数の微分（２）	積・商・合成関数を利用して、逆三角関数の導関数を求めることができる。
		12週	自然対数の底	自然対数の底について知り、関係する基本的な計算ができる。
		13週	指数関数の微分	指数関数の導関数を求めることができる。
		14週	対数関数の微分	対数関数の導関数を求めることができる。
		15週		
		16週	後期の総復習	後期に扱った内容についての復習を行う。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	100	0	100
基礎的能力	0	0	0	0	100	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語(3年)

科目基礎情報

科目番号	0093	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	現代社会

科目基礎情報

科目番号	0094	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	微分積分Ａ

科目基礎情報

科目番号	0096	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材	現代高等保健体育　大修館書店		
担当教員			

到達目標

1.日常的に自己の体調管理を行い、授業を受けるために必要なコンディションを維持することができる。また、担当教員や仲間と協力し、主体的かつ安全に活動を実行できる。
2.体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位により、自己の体力水準と課題を認識し、体力の維持増進を図れる。また、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得し、ルールを理解してゲームや記録測定を実行できる。
3.保健で取り上げられた各項目の基礎知識について説明できる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	欠席、遅刻、早退および見学がほとんどなく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が少なく、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられない。	欠席、遅刻、早退および見学が多い。または、授業を安全かつ円滑に進める上での問題行動がみられる。
評価項目2	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会において高いレベルの記録を出すことができる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術を習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位がやや低くても、改善しようとする姿勢がみられる。バレーボール及び陸上競技の基礎的技術概ね習得でき、ルールを理解できる。	体力テスト、陸上競技及びマラソン大会の記録や順位が著しく低く、改善しようとする姿勢がみられない。または、バレーボール及び陸上競技の基礎的技術がほとんど習得できておらず、ルールも理解できていない。
評価項目3	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中4項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できる。	「健康について」、「喫煙と飲酒」「医薬品と健康、薬物乱用とドーピング」「心肺蘇生法、日常的な応急手当」「人間と性、性感染症とエイズ」の5項目中3項目以上説明できない。または、飲酒、喫煙、薬物乱用のいずれかを行なった。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	体育実技と保健の講義を行う。 体育実技では、基礎体力の維持増進を図るとともに、各スポーツ競技を楽しむための基礎的技術の習得及びルールの理解を通してゲームや記録測定を行う。 保健の講義では、日常生活に関連した項目について学ぶ。
授業の進め方・方法	体育実技は、主にグランドや体育館にて行う。準備運動に続いて、その日の主要課題を行う。 保健の講義は、主にクラスルームにて行う。
注意点	･評価の50%は態度(出席状況及び授業態度)である。日常的に体調管理をしっかり行い、良い身体コンディションで授業に臨むこと。また、真面目に取り組むこと。 ･授業計画や評価方法は、天候等の事情により変更することがありうる。 ･実技の授業時には、運動に適した服装･シューズ及び着替えを準備すること。保健の授業時には、教科書を準備すること。 ･安全面に注意するとともに、体調不良時には、早めに担当教員に申し出ること。 ･日常的に規則正しい生活を心がけ、健康状態の維持及び体力の維持増進を図っておくこと。また、体育･スポーツ分野及び保健衛生分野に関する時事問題に関心を持ち、それらについて自分なりの考えを持っておくこと。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	授業のガイダンスと体力テスト（屋内種目）	自己の体力水準を認識できる。
		2週	体力テスト（屋外種目）	自己の体力水準を認識できる。
		3週	バレーボール（パスの練習）	アンダーハンドパス、オーバーハンドパスのコツをつかむ。
		4週	バレーボール（スパイクとサーブの練習）	スパイクとサーブの打ち方のコツをつかむ。
		5週	バレーボール（ルールの確認とゲームの実践①）	バレーボールのルールを理解する。
		6週	バレーボール（ゲームの実践②）	ゲームの中でサーブを確実にコートに入れることができる。
		7週	バレーボール（ゲームの実践③）	チームメイトと協力してラリーを続けることができる。
		8週	バレーボール（ゲームの実践④）	ラリー中にスパイクが打てる。
	2ndQ	9週	バレーボール（ゲームの実践⑤）	ブロックを含めたチームディフェンスができる。
		10週	バレーボール（ゲームの実践⑥）	ブロックを含めたチームディフェンスから攻撃を組み立てることができる。
		11週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。
		12週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。
		13週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。
		14週	球技種目選択（２種目）	種目を選択して、仲間と協力しながらゲームができる。

		15週	前期総括	前期の反省点を確認し、後期に生かすイメージを持てる。
		16週		
後期	3rdQ	1週	陸上競技(短距離走、ハードル走)	クラウチングスタートの注意点を説明できる。
		2週	陸上競技(ハードル走、持久走)	ハードル間を3歩のリズムで走ることができる。
		3週	陸上競技(砲丸投、持久走)	砲丸投の突き出し動作を実行できる。
		4週	陸上競技(砲丸投、持久走)	ペース配分を考えて持久走を実行できる。
		5週	陸上競技(走高跳)	跳躍方法ごとの踏切脚と助走方向の関係を説明できる。
		6週	陸上競技(走高跳)	リズム感のある助走から踏切を実行できる。
		7週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		8週	マラソン大会コース下見	マラソン大会のコースをイメージできる。
	4thQ	9週	陸上競技(走幅跳)	跳躍角度を意識した踏切を実行できる。
		10週	保健(健康について)	健康のとらえ方の変遷について説明できる。
		11週	保健(喫煙と飲酒)	喫煙及び飲酒の人体への影響について説明できる。
		12週	保健(医薬品と健康、薬物乱用とドーピング)	医薬品の正しい使用法について説明できる。
		13週	保健(日常的な応急手当と心肺蘇生法、AED講習会)	心肺蘇生法の基本的な流れを理解し、AEDを正しく使用できる。
		14週	保健(人間と性、性感染症とエイズ)	エイズの感染経路を理解し、予防法を説明できる。
		15週	総括	次年度の自己の健康及び体力増進をイメージできる。
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	7	0	0	50	0	43	100
基礎的能力	7	0	0	0	0	0	7
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	50	0	43	93

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	化学

科目基礎情報

科目番号	0097	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	1
教科書/教材	特に使用しない。常用漢字クリア、国語要覧、随時プリント配布		
担当教員			

到達目標

1．常用漢字、同音異義語、対義語、類義語、慣用句等の語彙力を高める。
2．論理的な文章を読み、論の展開や論旨を読み解く。
3．文学作品を鑑賞し、人物・情景・心情等の描写を読み味わう。
4．古典文学（古文及び漢文）を鑑賞し、時代背景など基礎的知識を習得する。
5．新聞記事やコラムを読んで、「いま」を考える。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	到達目標の各分野（常用漢字、論理的文章、文学作品、古典文学、新聞記事等）に真剣に取り組み、学習効果をあげることができる。	到達目標の各分野（常用漢字、論理的文章、文学作品、古典文学、新聞記事等）に真面目に取り組むことができる。	到達目標の各分野（常用漢字、文学作品、古典文学、新聞記事等）に真面目に取り組むことができない。
評価項目2	定期試験や小テスト等でしっかりと努力の成果を出すことができる。	定期試験や小テスト等で努力の跡を出すことができる。	定期試験や小テスト等で頑張りや努力ができない。
評価項目3	提出物をきちんと仕上げて期限内に提出することができる。	提出物を期限内に提出することができる。	提出物を期限内に提出することができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	高等専門学校といえども、３年次までは高等学校の分野を併せ持つ意味から、国語の総合的分野を学習していくことが大切である。 従って、漢字学習をはじめ、現代文のみならず、古文や漢文についても、基礎的な学習を展開していく。また、日本の将来を担う優位な人間に成長するためには、 常に「いま」を考えることが大切である。そういう観点から、様々な視点で考え、視野を広げるために、新聞記事等も教材として扱っていく。
授業の進め方・方法	①毎回の授業時に、漢字テキスト（『常用漢字クリア』）からプリント形式で漢字学習をする。その際、漢字検定やSPI形式を念頭に置きながら、対義語、類義語、同音異字、慣用句等、語彙の幅を広げていくような学習を展開していく。 ②９０分の授業を前半４５分と後半４５分に二分化し、前半は漢字学習を、後半は各ジャンルの教材を学習していく。 ③前半の漢字学習は語彙力をつけるための学習法を展開し、生き生きとした、活動的な学習の場を目指す。 ④後半の各ジャンルの教材および新聞記事等については、プリントによる投げ込み形式であるが、授業計画に即し、ジャンルに応じた学習を目指す。
注意点	①授業中は学習に集中して取り組むこと。日々の授業態度が、評価割合の「態度」として位置づけてある。 ②与えられた課題は提出期限を厳守する。提出物については、評価割合の「ポートフォリオ」賭して位置づけてある。 ③毎回、前回の漢字学習の習熟度を小テストで確認する。その小テストについては、評価割合の「その他」として位置づけてある。 ④前年度までに履修した国語の基礎知識を習得しているものとして学習を継続していく。従って、漢字テキストについては、原則的に前年度学習範囲を引き継ぐ形で進めていく。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	ガイダンスと漢字学習	年間学習のしかたやテキストの使い方、小テストなどの取り組み方、提出物のあり方等を理解できる
		2週	漢字学習と評論①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握することができる
		3週	漢字学習と評論②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握することができる前半は
		4週	漢字学習と評論③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握し、自分の考えや意見をまとめることができる
		5週	漢字学習と評論④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は論旨の展開を把握し、自分の考えや意見をまとめることができる
		6週	漢字学習と新聞記事①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる
		7週	漢字学習と新聞記事②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる
		8週	前期中間試験	これまでの学習内容を理解し、試験問題に適切な回答ができる
	2ndQ	9週	試験の解答解説と漢字学習	前を半は試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認することができ、後半SPIを意識した漢字学習に取り組むことができる

		10週	漢字学習と古文①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は説話文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		11週	漢字学習と古文②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は古典文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		12週	漢字学習と古文③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は古典文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		13週	漢字学習と古文④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は古典文学のおもしろさを通して、古文に関心をもつことができる
		14週	漢字学習と新聞記事③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる
		15週	前期期末試験	
		16週	試験の解答解説と漢字学習	前半は試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認することができ、後半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができる。
後期	3rdQ	1週	漢字学習と小説①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は小説に登場人物の心情を把握することができる。
		2週	漢字学習と小説②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は小説に登場人物の心情を把握することができる。
		3週	漢字学習と小説③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は小説に登場人物の心情を把握することができる。
		4週	漢字学習と小説④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は登場人物の心情を把握するとともに、作品の時代背景や作者の文学史的位置づけを理解できる。
		5週	漢字学習と小説⑤	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は登場人物の心情を把握するとともに、作品の時代背景や作者の文学史的位置づけを理解できる。
		6週	漢字学習と新聞記事④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる。
		7週	漢字学習と新聞記事⑤	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる。
		8週	後期中間試験	これまでの学習内容を理解し、試験問題に適切な解答ができる。
	4thQ	9週	試験の解答解説と漢字学習	前半は試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認することができ、後半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができる。
		10週	漢字学習と漢文①	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文学習の基本的な知識を身につけることができる。
		11週	漢字学習と漢文②	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文学習の基本的な知識を身につけることができる。
		12週	漢字学習と漢文③	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文を通して、自分の生活に密着した故事成語が多くあることを理解する。
		13週	漢字学習と漢文④	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半は漢文を通して、自分の生活に密着した故事成語が多くあることを理解する。
		14週	漢字学習と新聞記事⑥	前半はSPIを意識した漢字学習に取り組むことができ、後半はタイムリーなテーマや身近な題材を通して、自己表現力を高めることができる。
		15週	後期期末試験	
		16週	試験の解答解説・年間授業の総括	試験の見直しを通して、答えとその正しい導き方を確認し、年間学習の振り返りをすることができる。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	10	10	20	100
基礎的能力	60	0	0	10	10	20	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	工業力学

科目基礎情報

科目番号	0068	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	前期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	材料力学

科目基礎情報

科目番号	0069	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	応用数学

科目基礎情報

科目番号	0080	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	計測制御工学Ⅰ

科目基礎情報

科目番号	0083	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 2
開設学科	商船学科	対象学年	3
開設期	通年	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	経済学

科目基礎情報

科目番号	0096	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	流体力学

科目基礎情報

科目番号	0070	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	環境科学特論

科目基礎情報

科目番号	0093	科目区分	専門 / 選択
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	4
開設期	後期	週時間数	2
教科書/教材	航海造船学、野原威男、庄司邦昭　参考書：基本運用術、本田啓之輔 原著・淺木健司 著		
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	載貨に関する用語を具体例を挙げて説明できる	載貨に関する用語を説明できる	載貨に関する用語を説明できない
評価項目2	船舶のコンディションの応用計算ができる	船舶のコンディション基礎計算ができる	船舶のコンディション計算ができない
評価項目3	ヒール・トリム・復原性の維持方法を具体例を挙げて説明できる	ヒール・トリム・復原性の維持方法を説明できる	ヒール・トリム・復原性の維持方法を説明できない

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	船舶の運航に必要なコンディション計算や、滑車・テークルなど貨物の取り扱いに必要な基礎的知識を身に着ける。 船舶を安全に運航するために必要になるヒール、トリム、復原性の維持方法を身に付ける。
授業の進め方・方法	・前回の講義を踏まえて授業を進めていくので、前回の講義または既に学んだことを復習しておくこと ・試験は、記述形式で行うので、学習内容を自ら文字にして説明できるように日頃から準備しておくこと ・実験実習の内容を理解しておくと、授業が分かりやすい
注意点	・レポート課題を課すので、期限に遅れずに提出すること。 ・レポート、その他（ノート提出・出席）等がすべてなされていることを条件に評価するので忘れないこと

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
後期	3rdQ	1週	喫水の読み方と排水量計算1	喫水を読み取り、修正を行うことができる
		2週	喫水の読み方と排水量計算2	喫水を読み取り、修正を行うことができる
		3週	載貨（ヒール）に関する用語・略号	用語・略号を説明できる
		4週	船舶の安定・不安定と復原力	重心の位置関係から説明できる
		5週	復原力曲線とGMの算定	復原力曲線を説明でき、GMを算出できる
		6週	GMに影響する重心の移動	GMを減少させる原因と自由水を説明できる
		7週	排水量表の使い方	排水量表から必要なデータを読み取れる
		8週	中間試験	
	4thQ	9週	船積によるGの変化量	重心の移動量を計算できる
		10週	滑車・テークル	滑車の各部名称とテークルを説明できる
		11週	載貨（トリム）に関する用語・略号	用語・略号を説明できる
		12週	縦メタセンタとトリムモーメント	毎センチトリムモーメントを説明できる
		13週	重量物の移動に伴う喫水の変化	重量物の移動に伴う喫水変化を計算できる
		14週	貨物積載に伴う喫水の変化1	貨物積載した時の喫水の変化を計算できる
		15週	貨物積載に伴う喫水の変化2	貨物積載した時の喫水の変化を計算できる
		16週	試験返却	解説を行う

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	出席	合計
総合評価割合	60	0	0	5	20	15	100
基礎的能力	40	0	0	5	15	15	75
専門的能力	20	0	0	0	5	0	25
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	国語(4年)

科目基礎情報

科目番号	0095	科目区分	専門 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	4
開設期	通年	週時間数	0.5
教科書/教材	高校現代社会（実教出版）および自主作成資料		
担当教員	豊田 尚子		

到達目標

①現代の社会を理解するための基礎的・基本的な知識を身につけることができる。
②現代社会のさまざまな事象を主体的にとらえ、それらの要因、背景、影響を多面的に考察し、理解を深めることができる。
③現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、人としてのよりよい生き方やあり方を考え、より望ましい行動をとることができる。

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安	
評価項目1 基礎的な知識	現代社会を理解するための基本的なことがらについて説明できる。	現代社会を理解するための基本的なことがらについての理解を深めることができる。	現代社会を理解するための基本的なことがらについての理解が深められない。	
評価項目2 多面的な考察と理解	現代社会のさまざまな事象について多面的に説明することができる。	現代社会のさまざまな事象を多面的に考察し、理解を深めることができる。	現代社会の今日的な事象について多面的に考察したり、理解を深めたりすることができない。	
評価項目3 主体的な行動	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動をとることができる。	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動への意識がもてるようになる。	現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえることができない。	

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	現代社会のさまざまな事象を理解するためには、基礎的・基本的なことがらを身に付けることが必要です。講義を通じて、これらの基礎的・基本的なことがらを身につけていきます。また、そのうえで、具体的な現代社会のさまざまな事象について、その原因、背景、影響等をいろいろな角度から考え、考察していきます。そのためには、新聞、テレビなどのニュースを通じて、今おこっている社会のできごとに積極的に目を向けることが必要です。また、講義を通して、現代社会に様々な課題がある状況の中で、人としてどのように考え、どのような行動をとるのかについての手がかりを見つけ、望ましい行動がとれるようになることを目指します。
授業の進め方・方法	教科書を手がかりにして、現代社会のさまざまなできごとについて把握し、それに関係する基礎的・基本的な内容について理解し、身に付けることを基本とします。また、現在進行している社会現象や社会の変化についても、実際の新聞報道などをもとに学んでいきます。
注意点	現代の社会では、常にさまざまな事象が発生し、進行していきます。そのような現代社会を理解するためには、基礎的・基本的なことがらを確実に身に付けることが欠かせません。進んでこれらの基礎的・基本的なことがらを理解し、身につけるようにしてください。また、常に新聞やテレビなどの報道などに関心を持ち、常に社会事象について、その原因、背景、影響等をいろいろな角度から考え、考察していくことも大切です。そのうえで、現代社会のさまざまな課題について主体的にとらえ、望ましい行動がとれるようになることが一層大切です。

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	オリエンテーション　現代社会と環境問題	・「現代社会」の学習の目的と意義について理解する。 地球環境問題のあらましを把握する。
		2週	現代社会と環境問題（１）	・「生態系」とは何かを知るとともに、生態系の保全の重要性について理解する。
		3週	現代社会と環境問題（２）	・「生態系」にかかわる課題を学習し、生態系の保全の重要性について考察する。
		4週	地球環境問題と地球温暖化（１）	・地球温暖化とは何かを知るとともに、その原因について理解する。
		5週	地球環境問題と地球温暖化（２）	・地球温暖化の進行がどのような状況を招くのかを知るとともに、地球温暖化と私たちの生活とのかかわりについて理解する。
		6週	地球環境問題とオゾン層の破壊	・オゾン層とその破壊の状況について知るとともに、その原因について理解し、国際的な取り組みについて理解する。
		7週	生態系と野生の生物種の保護	・生態系の保護、野生の生物種にかかわるさまざまな課題と国際的な取り組みについて理解する。
		8週	前期中間テスト	
	2ndQ	9週	テスト返却・復習　砂漠化の進行	・砂漠化とは何かを知るとともに、砂漠化の状況を把握し、その原因について考察する。
		10週	地球環境問題と国際的な取り組み（１）	・地球環境問題に関する国際的な取り組みの目的とその取り組み内容について理解する。
		11週	地球環境問題と国際的な取り組み（２）	・地球環境問題に関するさまざま国際的な取り組みについての理解を進める。
		12週	地球環境問題と国際的な取り組み（３）	・地球環境問題に関する様々な課題について知るとともに、その解決のみちすじについて考察する。
		13週	資源・エネルギー問題（１）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の現状について理解する。
		14週	資源・エネルギー問題（２）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の現状についての理解を深める。
		15週	前期期末テスト	

		16週	テスト返却・復習　資源・エネルギー問題（３）	・現代社会とそれを支える資源やエネルギー問題の課題について考察する。
後期	3rdQ	1週	生命科学の進歩や技術の開発（１）	・生命科学の進歩や技術の進展の現状について把握する。
		2週	生命科学の進歩や技術の開発（２）	・生命科学の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題について理解する。
		3週	先端医療の現状と課題（１）	・先端医療の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題について理解する。
		4週	先端医療の現状と課題（２）	・先端医療の進歩や技術の進展の現状にかかわる課題についての理解を進める。
		5週	遺伝子にかかわる技術の進歩（１）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題について理解する。
		6週	遺伝子にかかわる技術の進歩（２）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題についての理解を進める。
		7週	遺伝子にかかわる技術の進歩（３）	・遺伝子にかかわる技術の進展の現状と課題について多面的に考察する。
		8週	後期中間テスト	
	4thQ	9週	テスト返却・復習　　高度情報化社会の進展と現状（１）	・高度情報化社会の現状について理解する。
		10週	高度情報化社会の進展と現状（２）	・高度情報化社会の現状についての理解を深める。
		11週	高度情報化社会の現状と課題（３）	・高度情報化社会のさまざま課題について把握する。
		12週	高度情報化社会の現状と課題（４）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について考察する。
		13週	高度情報化社会の現状と課題（５）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について多面的に考察する。
		14週	高度情報化社会の現状と課題（６）	・高度情報化社会の現状とさまざまな課題について多面的に考察する。
		15週	後期期末テスト	
		16週	テスト返却・復習　現代社会の課題と私たちの生活	・一年間の学習をふりかえり、現代社会の課題と今後の自分の生き方についての考えを深める。

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	0	0	0	30	0	100
基礎的能力	70	0	0	0	30	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	総合英語

科目基礎情報

科目番号	0281	科目区分	一般 / 必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	通年	週時間数	0.5
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		
後期	3rdQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	4thQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	専門英語

科目基礎情報

科目番号	0238	科目区分	専門 / コース必修
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	防食防汚特論

科目基礎情報

科目番号	0245	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	制御工学特論

科目基礎情報

科目番号	0246	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	海技実務Ⅱ

科目基礎情報

科目番号	0247	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	船舶工学特論

科目基礎情報

科目番号	0264	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0

モデルコア高専5	開講年度	平成31年度 (2019年度)	授業科目	海技実務Ⅲ

科目基礎情報

科目番号	0270	科目区分	専門 / 選択
授業形態	授業	単位の種別と単位数	学修単位: 1
開設学科	商船学科	対象学年	5
開設期	前期	週時間数	1
教科書/教材			
担当教員			

到達目標

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1			
評価項目2			
評価項目3			

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	
授業の進め方・方法	
注意点	

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週		
		2週		
		3週		
		4週		
		5週		
		6週		
		7週		
		8週		
	2ndQ	9週		
		10週		
		11週		
		12週		
		13週		
		14週		
		15週		
		16週		

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	0	0	0
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0